



3年班長からの「贈る言葉」

在校生・班員へ…

4班班長 清水 武

3月の卒業式まで残り1カ月となりました。シニア大学の3年間はあっという間に過ぎ去ろうとしています。

振り返ってみますと、私たちが入学した年は令和4年（2022年）の春で、コロナ禍がようやく少しずつ落ち着き始めた頃です。

感染症対策を行いながら、それまで休眠状態であった講座が再開され、大学祭も3年振りに復活しました。大学祭の運営、合唱練習などは、経験者が皆無でほとんどが手探り状態からの再スタートの年でした。

私たちシニア世代においては、仕事を続けながら、或いは地元町内会のお世話をしながら、或いはご両親などの介護を続けながら、また自分自身が通院しながらと、何がしかの諸事情を抱えて、大学に通っていらっしゃる方が少なくありません。

これは強い意志と、周囲の理解と協力がな

いと続けることは非常に難しいことと思います。

人生の後半において、こうした環境を乗り越えて卒業できますことは一つの大きな喜びでもあります。



あとに続けられる在校生の皆さんは、野外レクや懇親会、大学祭、合唱など沢山の行事等を通じて築かれた絆、出会いを大切にされ、強い意志を持って有意義な大学生活を送り人生をさらに豊かにして行ってください。

広島市社会福祉協議会事務局の皆様を始め、自治会役員並びに関係者の皆様方には大変お世話になりありがとうございました。心に残る充実した大学3年間でした。

5班班長 藤田秀子

シニア大学は月2回の講座のほか、サークル活動、大学祭など様々な活動に参加することで学びあり、新たな発見あり、新しい人との出会いがあり元気をもらえます。(裏面続く)

このシニア大学で3年間を過ごすことは、長い人生からみれば短い期間ですが、とても大切な3年になるはずです。不安なことや、悩むこともあると思います。が、それも大切なことです。

どうぞ一日一日を大切に、充実した3年間を過ごしてください。本当によい人たちとも出会うことが出来て良かったと思っています。



6 班班長 岡 正人

この3月に卒業いたします。私は、2年の時に班長を引き受けましたが、当初は自分にできるかどうか不安でした。でも、副班長をはじめ班の役員及び皆さんのご理解とご協力で班の運営、野外レク、大学祭等と



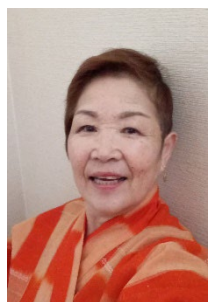
次から次へと決まっている行事をどうにか終わることができました。大学祭のコーラス発表は、班員全員が力を合わせて行ったイベントなので特に

記憶に残っています。

在校生の皆さんは、これからも講座を受講し知識を深めることはもちろんのこと、大学祭、自治会活動、サークル活動等シニア大学での様々な活動や機会を活かし、新たな仲間と出会い趣味を広げて、楽しみながら充実した学生生活を謳歌してください。

最後に、皆さんこの2年間大変お世話になりました。本当にありがとうございました。心より感謝いたします。

1 班班長 高杳清美



発端はのんべーの赤水さんのつぶやきから始まりました。“五日市で飲み会をしたいな”。

「それはいいね」とすぐに乗った高杳が1班のグループLINE「わくわく一班会」に希望者を募ったところ、なんと瞬く間に23名が手を挙げました。場所は五日市駅そばの居酒屋、飲み放題の料金でセットしました。時は1月16日(木)16時から。

ウキウキ飲み会のご報告

まずは次年度班長の野村さんの音頭で「乾杯!」。思い思いのメンバーで会話ははずみに弾み、生ビールのジョッキは片っ端から空になるスピードぶりで、3時間のしゃべくりタイムは終わりました。

1年生の柏原さんの提案で全員首から名札を下げてしっかりとお互いの顔と名前を覚えたのは実にいいアイデアだったと思ったことでした。数か月後に卒業を控えているのに顔と名前がはっきりしないのは寂しい事ですから。

中区から参加した方から思いがけなく「次回のウキウキ飲み会は中区で開こう」という声があがり即決しました。2月はさてどこで一班会ウキウキ飲み会が開かれることでしょうか!